



2012.9

SOE 環境教育出前授業報告



教室内の放射線量を計っている
わかしお学校の子どもたち

放射線から体を守る生活の仕方 ●プログラム開始●

「自分で守れる方法があるなら、知りたい。」
—小中大学生が知りたいこと

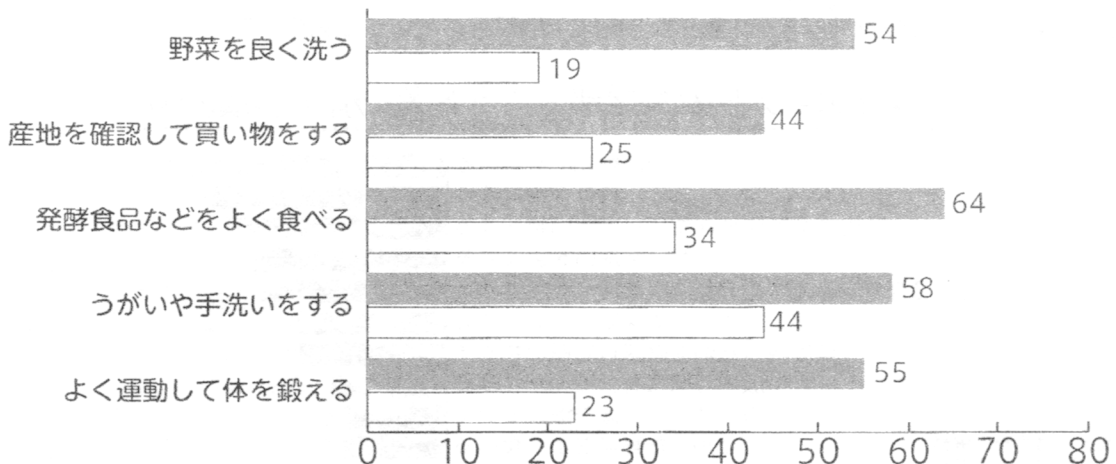
～こどもたち・生徒・学生が計測器35台を使って
放射線を計測～

7月より、センスオブアースの独自プログラムとして、放射線から体を守る生活の仕方のプログラム授業を、小学校、中学校、大学で開始した。このプログラムでは、子どもたちが、放射線から体を守る方法があることを学び、実際の生活で、すすんで実践していくことを目指している。文科省の副読本「放射線について考えてみよう」(小)、「知ることから始めよう放射線のいろいろ」(中)や、大学化学専門家、民間家庭栄養研究会などの資料を参考に

して、わかりやすくまとめたものである。子どもたちから、授業前にアンケートをとり、一番知りたいことや気になっていることなどを実態調査し、その疑問に答える形で授業を行った。小学校2校分の子どもの意識の変化の一部を、ご紹介する。子どもたちは真剣に学んで考えを発表した。《従来の行動(自分でやっていること)は、事前アンケートで調査》

放射線授業前後の行動意識の移り変わり(対象：小学校2校 71名)

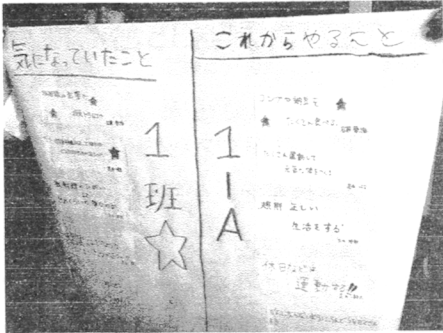
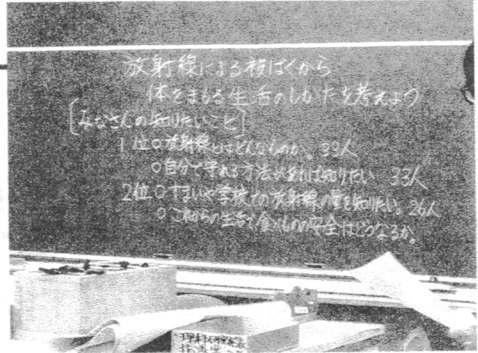
■ 授業後(行動目標)
□ 授業前(実際の行動)



児童、生徒、学生それぞれの知りたいこと、学んでいきたいことを事前調査した。

◎板橋第七小学校◎

- 1位:「放射線とはどんなものか。」「自分で守れる方法があるなら、知りたい」
- 2位:「住まいや学校の放射線量を知りたい。」「これからの生活で食べものの安全はどうなるのか。」



自分の意見を発表する中台中学校1年生

◎中台中学校◎

- 1位:「自分で守れる方法があれば知りたい。」
- 2位:「これからの生活で食べものの安全はどうなるのか。」
- 3位:「この事故での放射線による健康への影響はあるのか」

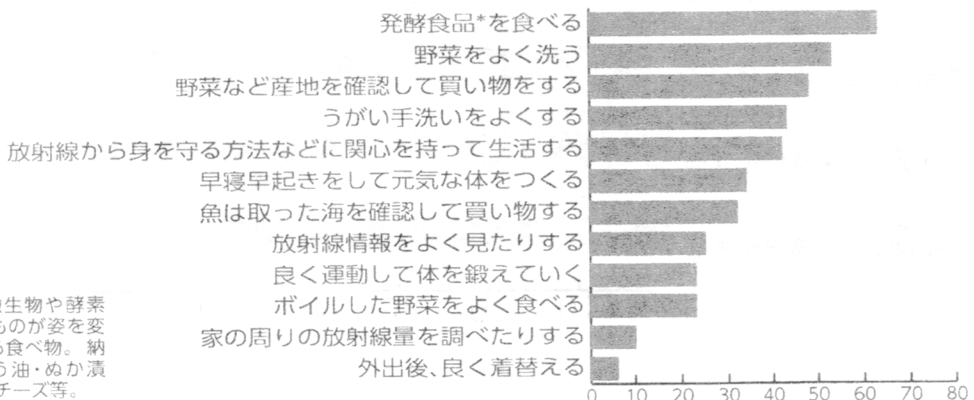
◎日本女子大学◎

- 1位:「この事故での放射線による体内・外被曝の健康への影響」(表現が違うが、小中生での健康への影響と重なる)
- 2位:「これからの生活の放射線基準値と食べものの安全について」
- 3位:「自分で守れる方法があるなら知りたい。」

小中で共通の1位は「自分で守れる方法があれば知りたい」である。小中大学生の共通で同じ2位の項目は、「これからの生活で食べものの安全はどうなるか。」であった。

これらの項目に応えようと、私たちのプログラム授業は努力を続けている。自分で守れる方法の一つにすぎないにしても、生活の中で工夫改善することは、いろいろある。その学びの1つの結果が、次のグラフである。食べ物への努力がトップ3つを占め、後に、健康のための生活習慣が続く。

日本女子大学人間社会学部 158名 7月16日 授業後集計



*発酵食品一微生物や酵素の働きで、食べものが姿を変え、保存が伸びる食べ物。納豆・みそ・しょう油・ぬか漬・ヨーグルト・チーズ等。

『放射線から体を守る生活の仕方』プログラムについて

秋期 第2回「放射線から体を守る生活の仕方」のプログラムは、10月～11月前半の期間を予定しています。(計測器「はかるくん」を文科省から借りるため、学期ごと期間が限定されます。) お申し込みは **FAX:03(3960)6052**まで。9月はこのプログラムはありません。第一希望・第二希望を添えてお申し込みください。
原則、週火・木の午前、午後 各2単位時間です。



いもむしのたからさがし・同じものを見つけよう・ キロリのオニゴッコなど in赤塚公園



けやき保育園
「おなじもの見つけてきてね。」

けやき保育園 6/21
すみれ保育園 6/26

梅雨空が心配された季節でしたが、両日とも、天気にも恵まれ、赤塚公園でのびのびと自然遊びを行いました。

けやき保育園は、昨年に続き2度目の企画です。5歳児20名と保護者17名、保育者とスタッフで、45名の大部隊。『同じものを見つけよう』は、こちらが、用意した葉っぱや木の実、落葉などと同じものを1分間見て覚えて集めてくる活動です。この日は、昨日の台風のおかげでたくさんの葉が落ちている好観察の日。メタセコイヤの葉、イチョウの葉と実、マテバシイの落葉、など、張り切って探してきてグループごとにみんなに紹介。観察力が鋭くなります。その後、『いもむしのたからさがし』探検隊で、ビンゴカードにシールを張って歩きます。保護者の方も、子どもの観察にゆっくり付き合い、いっしょに目を大きくして木の穴を見つめています。子どもたちの感想は…「全部おもしろかった。」「ありさんのおうちを見つけた。」「鳥の声を聞いた。」「木の実(ヤマモモの実)がよかった。」「風の音を走って聞いた。」「木の肌がよかった。」「楽しかった。オニゴッコが楽しかった。」「たからさがし、木の実を探すのが楽しかった。」「走るのが楽しかった。」などでした。



すみれ保育園「わー、にげろー」



6/16は、すみれ保育園。お天気にも恵まれ、4歳児19名、5歳児20名、保育者、スタッフ5～6名でやはり40数名の大所帯。公園に着くと、すぐに『キロリのオニゴッコ』を4回も夢中で取り組みました。5歳児が逃げて4歳児がオニになる場面でも、ほとんど同じくらい早く、捕まえてきたのにはびっくり。

健脚です。『いもむしのたからさがし』で、12～14班に分かれ、4・5歳児の組み合わせで活動。とてもスムーズに仲よくしているので感心しました。「虫を探すのが楽しかった。」「葉っぱが大好きです。」「木の実を探すのが楽しかった。」「鳥の音が、ピーピーと楽しかった。」「木にさわるのがよかった。」「ヤマモモの実をとるのが好きでした。」「虫が楽しかった。」「ダンゴムシがよかった。」「スズメの音がかわいかった。」「風の音が聞こえた。」「みんなで探すのが楽しかった。」など、全員が感想を発表しました。



すみれ保育園
齋藤浩子園長先生

齋藤浩子園長先生「参加したいと思いつつながら、実現できずにいた環境プログラムでしたが、念願になってよかったです。自然豊かな環境にいるのにその素晴らしさ、ありがたさを当たり前だと思っていたところがあったと反省しています。これを機に、子どもと自然の距離が近くなり、環境に対する関心をさらに広めていきたいです。」



第3回ネイチャーゲームリーダー養成講座実施

主催 センスオブアース



8月2日・3日、エコポリスセンターと前野公園にて開催したネイチャーゲームリーダー養成講座。3回目となる今回のセンスオブアース主催の養成講座には、幅広い世代の7名が参加しました。

どこにでもあるような街の公園の、ちょっとした草や木やそこに住む生き物。普段なら目に留めないような世界と触れて、そのときの思いを参加者同士で共有していきます。子どもを始めとする多くの人達に、自然の豊かさ・分かち合うことの喜びを届けるのがネイチャーリーダーの役割です。その第一歩を踏み出せた講座になったのでは無いでしょうか。(今年の民間会社や教育系の就職面接で、この資格に関心もたれ、社会では自然との共生を目指す生き方に好感が持たれている傾向がわかりました。)



ネイチャーゲーム「私の木」の魅力をあなたにも伝えます

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052
e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp